

第67回 日本生物工学会大会 (2015)

会 期 2015年(平成27年)10月26日(月)～28日(水)

会 場 城山観光ホテル(〒890-8586 鹿児島県鹿児島市新照院町41-1 TEL.099-224-2211)

<http://www.shiroyama-g.co.jp/>

大会ホームページ <http://www.sbj.or.jp/2015/>

全体スケジュール

	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)
午前	授賞式・受賞講演(A会場) (9:00～11:25)	受賞講演(E会場) (9:00～9:20) シンポジウム (9:00または9:20～11:20) KSBB招待講演(B, C, D会場) (時間は次ページをご参照ください)	シンポジウム (8:30～10:50)
昼	ランチョンセミナー (11:45～12:45)	ランチョンセミナー (11:45～12:45)	ランチョンセミナー (11:15～12:15)
午後	ポスター発表 (13:00～15:00) 英語論文の書き方セミナー (D会場) (13:00～14:30) シンポジウム (15:30～17:50)	ポスター発表 (13:00～15:00) 受賞講演(B, C, D会場) (15:30～15:50) シンポジウム (16:00～18:20)	ポスター発表 (12:30～14:30) シンポジウム (15:00～17:20)
夜	懇親会(A会場) (18:30～20:30)	若手交流会(開閉の間) (18:30～20:30)	

※最終日10月28日(水)のみ、8:30開始となりますので、ご注意ください。

授賞式典

日 時 10月26日(月)9:00～9:40

会 場 城山観光ホテル 2階A会場(ロイヤルガーデン)

プログラム 9:00～9:05 会長挨拶

9:05～9:10 KSBB会長挨拶

9:10～9:40 各賞授賞式

受賞講演

《生物工学功労賞, 生物工学賞, 生物工学功績賞, 生物工学技術賞》

日 時 10月26日(月)9:50～11:25

会 場 城山観光ホテル 2階A会場(ロイヤルガーデン)

《生物工学奨励賞(江田賞)》

日 時 10月27日(火)9:00～9:20

会 場 城山観光ホテル 5階E会場(ルビーホール飛天),

《生物工学奨励賞(斎藤賞, 照井賞), 生物工学アジア若手賞》

日 時 10月27日(火)15:30～15:50

会 場 斎藤賞:3階C会場(サファイアホール飛鳥), 照井賞:4階D会場(パールホール天平)

生物工学アジア若手賞:2階B会場(アメジストホール鳳凰)

懇親会

日時 10月26日(月) 18:30~20:30

会場 城山観光ホテル 2階A会場(ロイヤルガーデン)

懇親会は、できるだけ事前参加登録を願いますが、定員の許す限り当日参加も歓迎いたします。

※鹿児島県の全焼酎会社113社の焼酎と九州・沖縄各県から選りすぐりの焼酎各10本を準備しております。また、開始前の18:15頃より焼酎に関する簡単な紹介(おいしい飲み方など)をいたしますので、是非ご参加ください。

一般講演

発表形式 ポスター発表

日時 10月26日(月)・27日(火) 13:00~15:00, 28日(水) 12:30~14:30

(ポスターの掲示時間は10:00~17:00, 最終日は16:00まで)

会場 城山観光ホテル 4階 ポスター会場(エメラルドホール)

KSBB招待講演

日時・会場 10月27日(火), 城山観光ホテル下記会場

9:50~10:15 Prof. Sung Ok Han (Korea University) 3階C会場(サファイアホール飛鳥)

10:30~10:50 Prof. Dong Soo Hwang (POSTECH) 2階B会場(アメジストホール鳳凰)

10:56~11:20 Prof. Jong Wook Hong (Hanyang University) 4階D会場(パールホール天平)

英語論文の書き方セミナー

日時 10月26日(月) 13:00~14:30

会場 城山観光ホテル 4階D会場(パールホール天平)

セミナータイトル 英語論文の書き方セミナー ~アクセプトされる英語論文の書き方~

講師 西川マリ(Mary Nishikawa)(カクタス・コミュニケーションズ株式会社)

米国大手製薬会社にてAIDS治療薬の研究に従事。製薬会社日本法人へ移籍後、社内の英語ドキュメント・レビューおよび社内の英語トレーニングを統括。その後、主にメディカル・ライターとして活躍。出版倫理に造詣が深く、また医学・ライフサイエンス分野の専門知識に知悉し、明確でわかりやすい論文の執筆にも定評がある。

主催 生物工学教育委員会・英文誌編集委員会

協力 英文校正エディテージ(カクタス・コミュニケーションズ株式会社)

※参加希望者は当日直接会場にお越し下さい(途中入退場自由)。

ランチョンセミナー

日時 10月26日(月)・27日(火) 11:45~12:45, 28日(水) 11:15~12:15

会場 城山観光ホテル 2階B会場(アメジストホール鳳凰), 3階C会場(サファイアホール飛鳥), 4階D会場(パールホール天平), 5階E会場(ルビーホール飛天)

※参加希望者は事前に参加登録を大会ホームページで行ってください(申込みサイトは9月中旬にオープン予定)。事前登録をされた方は、登録後に送られる受付メールを印刷してご持参ください。当日は、10:30まで(28日は10:00まで)に大会受付で受付メールをご呈示の上、整理券をお受け取りください。

10月26日(月):株式会社バイオット, 株式会社 明治, 味の素株式会社,

ヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社

10月27日(火):東ソー株式会社, 株式会社エービー・サイエックス, タカラバイオ株式会社,

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

10月28日(水):株式会社島津製作所, キッコマン株式会社, アジレントテクノロジー株式会社,

日本ウォーターズ株式会社

シンポジウム

『ものづくりーバイオを開拓する若い力』

開催日	会場 (階)	シンポジウム課題	オーガナイザー
26日 午後	B (2階)	食品のおいしさを極める生物工学 <本部企画>	今井泰彦 (キッコーマン) 貝沼章子 (東農大) 松井和彦 (味の素) 高下秀春 (三和酒類) 坂口正明 (サントリースピリッツ) 北川 泰 (アサヒフードアンドヘルスケア) 池 道彦 (阪大)
	C (3階)	学生および市民フォーラム 九州学生本格焼酎プログラム (焼酎の製造/歴史, アル コールの効能そして飲用の楽しさを伝える)	水光正仁 (宮崎大)
	D (4階)	若手研究者が提案する動物細胞一つつつを加工・品質 管理する技術	山口哲志 (東大) 境 慎司 (阪大) 加藤竜司 (名大)
	E (5階)	抗体工学の新潮流: シーズからニーズへ	中野秀雄 (名大) 上田 宏 (東工大)
27日 午前	B (2階)	バイオ界面における要素技術から展開する新たな生体 分子工学	神谷典穂 (九大) 梅津光央 (東北大) 堀 克敏 (名大)
	C (3階)	アジアにおける最新バイオリファイナリー研究	花井泰三 (九大) Xu Fang (Shandong Univ.)
	D (4階)	次世代バイオ医薬品生産を切り拓くバイオエンジニア リングの新展開	大政健史 (阪大/徳島大) 上平正道 (九大)
	E (5階)	魅力ある商品を支える醸造技術 <本部企画>	高下秀春 (三和酒類) 坂口正明 (サントリースピリッツ) 貝沼章子 (東農大) 今井泰彦 (キッコーマン)
27日 午後	B (2階)	若人よ世界に飛び出せ, そしてはばたけ!	榊原陽一 (宮崎大) 井上謙吾 (宮崎大)
	C (3階)	パイオニアに学ぶイノベーションのつくり方 ~産業界若手研究者が知りたい生物工学のマイルス トーン~	小高敦史 (月桂冠) 増田康之 (菊正宗酒造) 松浦友亮 (阪大) 本田孝祐 (阪大)
	D (4階)	動物細胞工学における非侵襲的細胞性状計測法の紹介	高木 睦 (北大) 加藤竜司 (名大)
	E (5階)	生物工学的手法を活用した海洋環境・生物多様性資源 の新規評価軸構築	菊地 淳 (理研) 田中 剛 (農工大)
28日 午前	B (2階)	二次代謝産物の生合成工学が切り拓く合成生物学の 世界	濱野吉十 (福井県大) 荒川賢治 (広島大)
	C (3階)	培養・計測技術はここまで来た! <本部企画>	安原貴臣 (アサヒグループホールディングス) 坂口正明 (サントリースピリッツ) 佐久間英雄 (丸菱バイオエンジ) 富田悟志 (エイブル) 松井和彦 (味の素) 北川 泰 (アサヒフードアンドヘルスケア)
	D (4階)	カロテノイドのバイオテクノロジー ~世界をリードする商業生産と研究開発~	三沢典彦 (石川県大)
	E (5階)	スマートプロテインデザイン: 産業化にむけた蛋白質 工学	上田 宏 (東工大) 座古 保 (愛媛大) 新井亮一 (信州大)
28日 午後	B (2階)	若手研究者が切り拓く合成代謝工学による有用物質生 産のための新しい技術紹介と実用化への挑戦	大津巖生 (奈良先端大) 高木博史 (奈良先端大)
	C (3階)	安全な水・大気・土壌環境づくりのためのバイオセン シングと実用化に向けての取り組み	黒田章夫 (広島大) 青柳秀紀 (筑波大)
	D (4階)	ヒト腸内フローラ研究の世界展開とバイオインダスト リーへの貢献	中山二郎 (九大) 山田拓司 (東工大)
	E (5階)	熟成の微生物科学 ~生物化学工学研究分野の新展開~	石井正治 (東大) 小川 順 (京大) 鮫島正浩 (東大)

シンポジウムのオーガナイザーおよび発表者の方へのお願い

- 1) 大会実行委員会は、液晶プロジェクターとパソコン接続ケーブル（ミニD-Sub15ピン端子（オス））を用意いたします。
- 2) コンピュータはオーガナイザーまたは発表者をご持参下さい。プロジェクターへの接続や操作もオーガナイザーあるいは発表者にお任せいたします。Macや一部Windowsディスプレイアダプターなどが必要な方はご持参下さい。
- 3) オーガナイザーは、あらかじめ当日の進行、使用可能機器、ソフトのバージョンなどを発表者にご周知下さいませようをお願いいたします。

当日参加申込み

当日参加申込み方法 当日、総合受付の窓口にお越し下さい。城山観光ホテル フロントロビー側入口（エメラルドホール）前にて10月26日（月）・27日（火）は8：00から、28日（水）は7：45から受付を開始します。

当日参加費

	大会参加費	懇親会費
正会員	13,000円	11,000円
学生会員	8,000円	6,000円
非会員	16,000円	14,000円

（消費税を含む。ただし、正会員・学生会員の参加費は不課税。大会参加費は講演要旨集代を含む。）

当日会場案内

大会受付 総合受付は、城山観光ホテル フロントロビー側入口（エメラルドホール前）にて10月26日（月）・27日（火）は8：00から、28日（水）は7：45から開始します。事前に参加登録を済ませた会員は、参加章をつけて各講演会場へお入り下さい。予約されなかった方は、当日受付の窓口にお越し下さい。会期中は必ず見やすいところに参加章をおつけ下さい。参加章のない方は未納者として納入をお願いすることになります。

講演会場でのお願い 講演会場での録音ならびに撮影はご遠慮下さい。

昼食について ランチョンセミナーが行なわれますので、事前予約の上、ご参加ください。また、城山観光ホテルのレストランをご利用ください。会場ホテル周辺には、食事できる場所がありませんので、ランチョンセミナーのご参加をお勧めします。

駐車場について 台数が限られていますのでシャトルバスまたはタクシーをご利用ください。

喫煙についてのお願い 指定された場所以外ではタバコを吸わないようお願いいたします。

現金自動預払機（ATM）について 会場内および会場付近にATMは設置されていませんので、当日参加費、懇親会費などの現金は事前にご準備願います。

大会中託児について

大会会場内に託児室は設置しませんが、鹿児島市天文館にある保育園（有料託児）を紹介いたします。収容定数に限りがありますのでご希望の方は下記までお問い合わせください。

問合せ先 E-mail: kagoshima@chem.agri.kagoshima-u.ac.jp

大会トピックス

一般講演のうち、社会的・学問的重要性が高く、時事を得た、優秀な研究発表約30題を大会トピックス選定委員会にて厳正な審査により選定致しました。大会トピックスに選定された演題については責任著者にトピックス集原稿を依頼中です。トピックス集は関連報道各社、協賛企業などに公開するとともに、大会期間中に配布し、大会ホームページに公開予定です。

会場への交通案内

【飛行機をご利用の場合】

鹿児島中央ターミナルビル経由

鹿児島空港…（鹿児島市内行きバス 約55分（直行便 約38分））
→鹿児島中央ターミナルビル…（シャトルバス 約25分）→城山観光ホテル

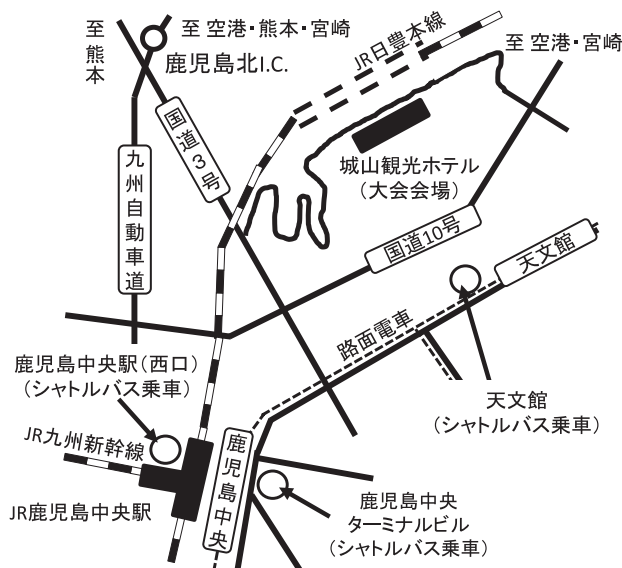
天文館経由

鹿児島空港…（鹿児島市内行きバス 約50分（直行便 約46分））
→天文館…（シャトルバス 約15分）→城山観光ホテル

【電車（新幹線）をご利用の場合】

鹿児島中央駅（西口）…（シャトルバス 約35分）→城山観光ホテル

シャトルバスは30分間隔で運行されています。（路線図と時刻表：<http://www.shiroyama-g.co.jp/access/>）大会期間中は、朝晩に増便する予定です。詳細は9月頃に本大会Webページの宿泊・交通のページでご案内いたします。



城山観光ホテルの周辺地図 (<http://www.sbj.or.jp/2015/access/>)

空港への直行便

最終日（10月28日（水））のシンポジウム終了後、羽田、伊丹、中部の各空港行き最終便に合わせて、城山観光ホテルから鹿児島空港への直行便バスの運行を予定しています（完全予約制、有料）。詳細は9月上旬に本大会Webページの宿泊・交通のページでご案内いたします。